



民生委員制度創設100周年

地域の身近な相談相手 民生委員児童委員と協力員



左から民生委員児童委員協力員の三輪萬壽子さん、地域に住む池田美智子さん、松本頼子さん、伊達喜美恵さん、平田桃代さん、民生委員児童委員の皐月利夫さん

問い合わせ先 長寿支援課 (☎40-0222)

民生委員制度は100年の歴史があります

民生委員制度の原点は、大正6年に岡山県で始まった濟世顧問制度からとわられています。その後、方面委員制度として全国に広まり、昭和21年に民生委員法令の公布により、名称が現

民生委員制度創設100周年記念大会 広島県大会



在の民生委員に改められました。さらに、戦後の窮乏の影響が大きい子どもたちを救うため、昭和22年に児童福祉法を制定し、児童委員制度が創設され、民生委員が兼任することになりました。今日に至るまで、地域の相談役として、困りごとの相談や生活上の課題がある多くの人々の支えとなってきました。

現在、全国では約23万人の民生委員児童委員が活動しています。府中市では、11月1日現在で、主任児童委員12人を含む121人が厚生労働大臣から委嘱され活動しています。民生委員児童委員は、自らも地域住民の一員として、子どもたちへの声掛けや、高齢者や障害のある人の安

民生委員制度の活動とあゆみ

とき	出来事
大正6(1917)年	岡山県で民生委員制度の発祥といわれる「濟世顧問制度」発足。
大正7(1918)年	大阪府で「方面委員制度」発足。全国に広まる。
昭和21(1946)年	民生委員令公布(民生委員と改称)
昭和22(1947)年	児童福祉法公布(民生委員が児童委員を兼ねる)

否確認や見守りなどを行い、地域に根ざした福祉活動を行っています。地域住民のさまざまな相談にも対応し、市役所や専門機関などのパイプ役になります。相談内容の秘密は守られるので、安心して相談してください。

土生町松山地区では、毎朝、地域の神社のお参りを済ませると、次々と近所の皆さんが集まって来られます。そこへ訪れたのは、愛犬を散歩中の三輪萬壽子さん。「今日は暖かくてええねえ。調子はどんな？」三輪さんは、10月から土生町の民生委員児童委員協力員として活動されています。何気ない会話を交わしながら、高齢者の皆さんの様子をうかがって見守り活動をしてられます。

協力員は民生委員児童委員の頼れる補佐

民生委員児童委員は、地域の皆さんの相談相手として、地域の見守りや行政機関への橋渡し役として活動を行っています。しかし、近年、少子化や高齢化が進み、その活動範囲は拡大しています。

そこで、民生委員児童委員の活動を補佐する役目の協力員を制度化し、地域の見守り役として活動していただいています。

近所の人だから安心できる

三輪萬壽子さんは、民生委員児童委員の皐月利夫さんの補佐役として、地域を支えてくださっています。

三輪さんが見守りを担当している地域の高齢者は約10人。そのうちの4人は、毎朝、いつもの場所に集まります。その場に三輪さんも参加し、雑談をすることで見守りをしています。高齢者の皆さんは「近所の人じゃけえ、全部知ってもらってるから安心。」と口を揃えて話されます。

地域とのつながりを感じ協力員も嬉しい

一方で三輪さんも、「先月の広報で紹介された私に『いい役を受けたなあ、風邪をひかんように頑張って』と声を掛けていただいたり、いろいろな人から励まされています。地域とのつながりができるから協力員をしていて嬉しいです。」と話してくださいました。

協力員制度は始まったばかりです

府中市の民生委員児童委員協議会の会長と、広島県の協議会の副会長という大役を受けている皐月さんは、「三輪さんには、役割分担をしていただき、本当に助けていただいています。」と感謝を述べられました。

しかし、協力員制度を活用して、地域を支えていただいているのは、現在、市内で三輪さんお一人しかおられません。

協力員の任務は無理のない範囲で

皐月さんは「協力員は、民生委員児童委員の忙しい部分を支援していただいているだけでなく、見守りをする相手によっては女性が訪問する方がいい場合などもあります。そんな時に役割分担していただき、本来にありません。協力員は無理を



府中市民生委員児童委員協議会 会長 皐月利夫さん(土生町)

して受けていただく必要はありません。無理のない範囲内で、できることから協力していただきたいと考えています。」と話されました。

地域の中で支え合うために

「私たち民生委員児童委員の業務が忙しいからという理由だけで、協力員制度を設けた訳ではありません。この制度から地域の中で支え合う仕組みを再構築していくというのも1つの目的です。私たちは、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けたいと思っています。そのために、住民参加による地域ぐるみの見守り・支え合い活動を一緒に推進しましょう」と、皐月さんは、力強く語ってくださいました。